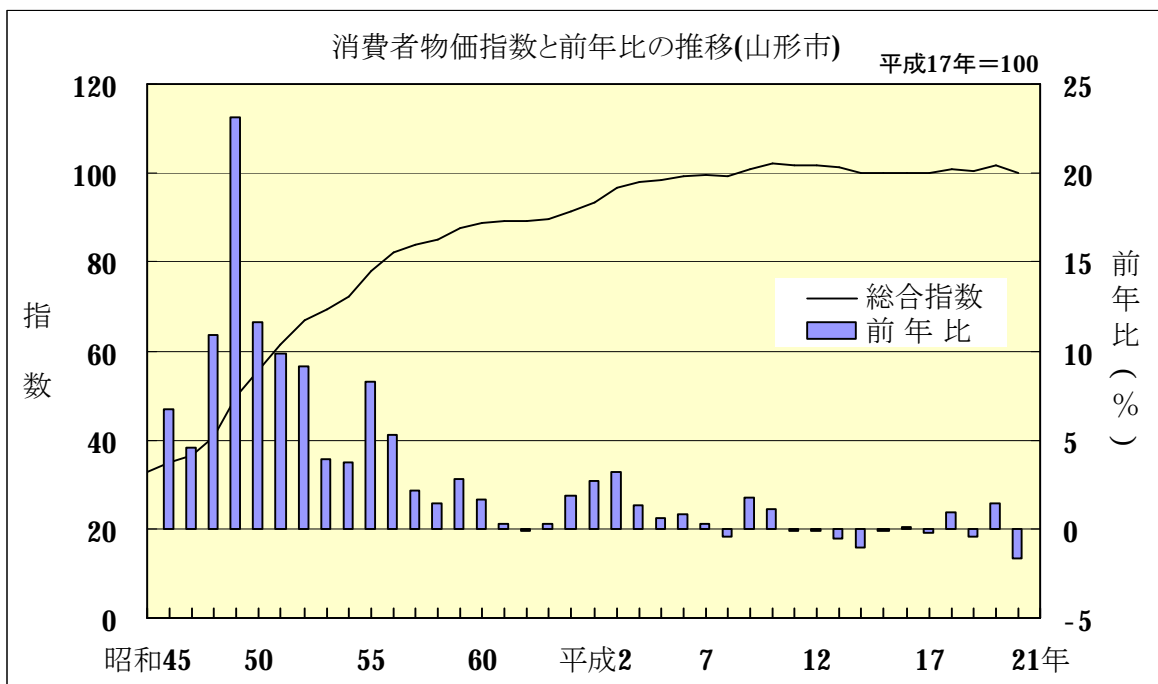


# 平成 17 年基準 山形市消費者物価指数

平成 21 年平均





# 平成 21 年 山形市消費者物価指数

## 平成 21 年平均

### 1 概 況

- ~~~~~
- (1) 総合指数（平成 17 年=100）は、100.2 となり、前年比は 1.7% の下落となった。この下落幅は、昭和 46 年以降最大の下落となった。
  - (2) 生鮮食品を除く総合指数は、99.9 となり、前年比は 1.6% の下落となった。
  - (3) 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は、98.0 となり、前年比は 0.7% の下落となった。
- ~~~~~

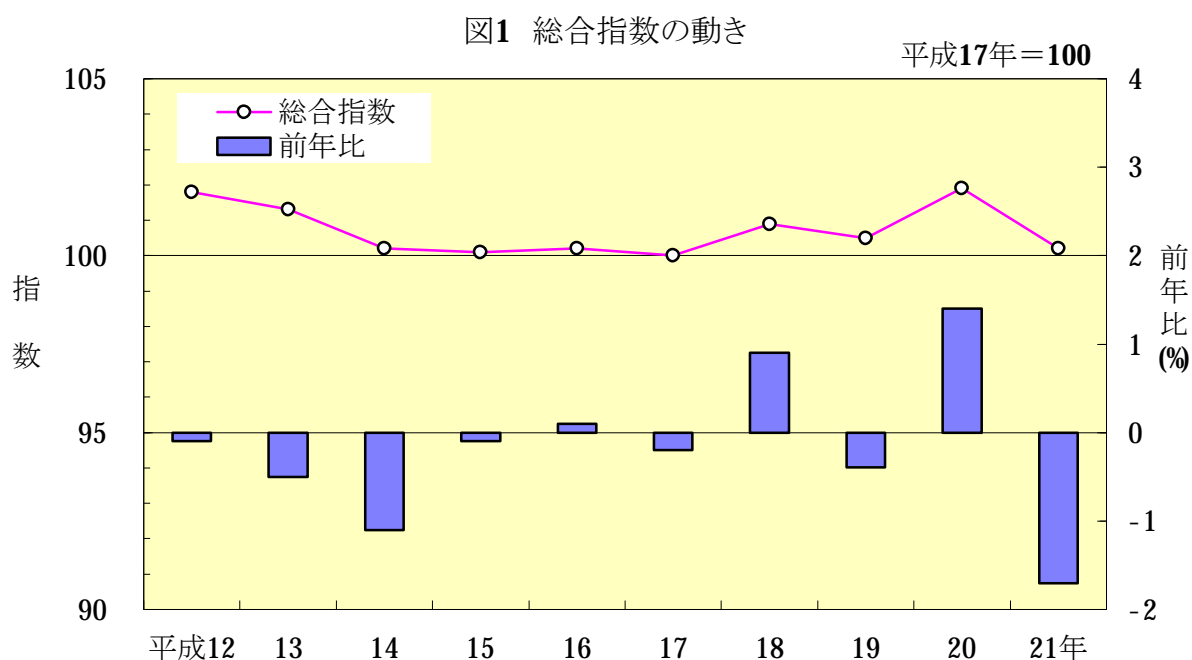


表1 総合、生鮮食品を除く総合、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数及び前年比

(平成17年=100)

		平成12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年
総 合	指数	101.8	101.3	100.2	100.1	100.2	100.0	100.9	100.5	101.9	100.2
	前年比	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2	0.9	▲ 0.4	1.4	▲ 1.7
生鮮食品を 除く総合	指数	102.2	101.2	100.1	99.9	99.9	100.0	100.4	99.9	101.5	99.9
	前年比	0.4	▲ 1.0	▲ 1.1	▲ 0.2	0.0	0.1	0.4	▲ 0.5	1.6	▲ 1.6
食料(酒類を除く) 及びエネルギーを除く総合	指数	-	-	-	-	-	100.0	99.7	98.7	98.7	98.0
	前年比	-	-	-	-	-	-	▲ 0.3	▲ 1.0	0.0	▲ 0.7

注) ▲はマイナスを表す(以下同じ)。

(1) 過去10年の総合指数の動き

- 平成12年 生鮮食品、公共サービス料金、外食などの値下がりにより0.1%の下落。
- 平成13年 教養娯楽用耐久財、衣料、通信等の値下がりにより0.5%の下落。
- 平成14年 食料、教養娯楽用耐久財、他の光熱(灯油)等の値下がりにより1.1%の下落。
- 平成15年 保健医療サービス等の値上がりしたが、シャツ・セーター・下着類の値下がりなどにより0.1%の下落。
- 平成16年 生鮮食品(野菜、果物等)等の値上がりにより6年ぶりに0.1%の上昇。
- 平成17年 光熱・水道(灯油)等が値上がりしたが、住居(家賃、設備修繕・維持)、生鮮食品(魚介、果物等)等の値下がりにより2年ぶりに0.2%の下落。
- 平成18年 光熱・水道(ガス、灯油)、生鮮食品(野菜、果物等)等の値上がりにより2年ぶりに0.9%の上昇。
- 平成19年 家賃、教養娯楽用耐久財等の値下がりにより2年ぶりに0.4%の下落。
- 平成20年 光熱・水道(ガス、灯油)、食料(穀類、生鮮野菜等)、交通・通信(自動車等関係費)等の値上がりにより2年ぶりに1.4%の上昇。
- 平成21年 食料(菓子類、穀類等)などが値上がりしたが、交通・通信(自動車等関係費)、光熱・水道(灯油)、被服及び履物(洋服等)等の値下がりにより2年ぶりに1.7%の下落。

(2) 平成21年の月別総合指数の動き

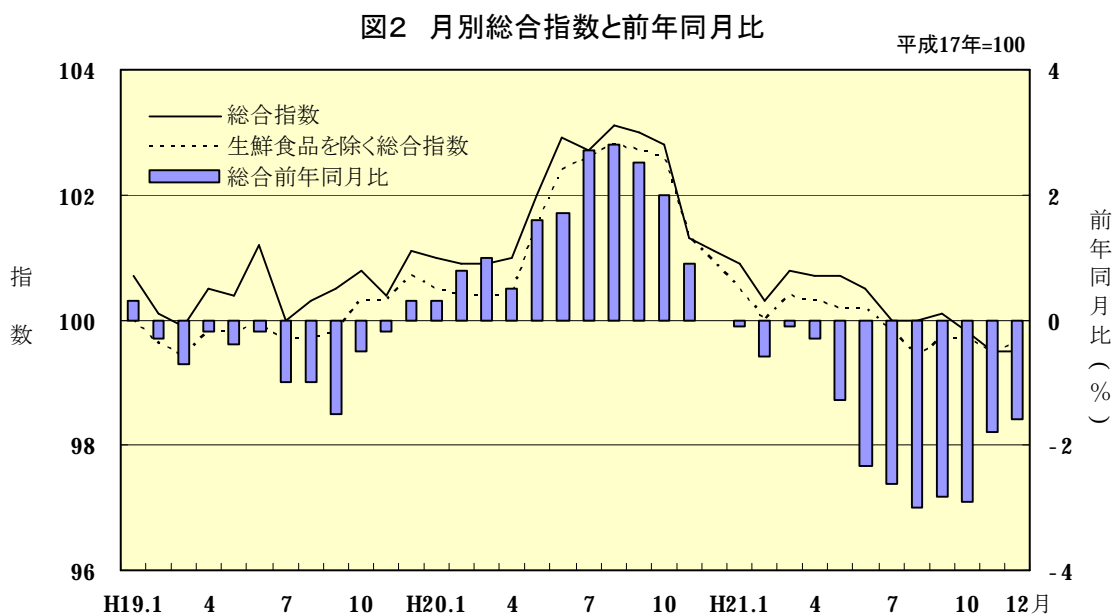


表2 10大費目別平均の指数及び前年比(山形市)

平成17年=100

指数	総合				食料	生鮮食品	食料を除く生鮮食品	住居	光熱・水道	用品・家具・家事	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
	全国	山形市														
		総合	合を除く	生鮮食品												
指数	100.3	100.2	99.9	98.0	104.6	106.9	104.1	98.9	105.6	87.2	99.3	98.6	98.2	102.4	94.8	101.5
前年比(%)	▲1.4	▲1.7	▲1.6	▲0.7	0.4	▲2.6	1.1	0.2	▲7.0	▲3.2	▲3.6	▲0.5	▲4.5	0.6	▲1.5	▲1.0
寄与度	▲1.40	▲1.67	▲1.50	▲0.47	0.10	▲0.12	0.23	0.04	▲0.61	▲0.10	▲0.16	▲0.02	▲0.70	0.02	▲0.13	▲0.06

\*食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合

※各寄与度は、ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変化率のうちどの程度寄与したかを示したものです。

## 2 平成21年1年間の10大費目指数の動き

平成21年平均の10大費目別指数を前年比で見ると「食料」、「住居」、「教育」の費目で上昇した。一方、「交通・通信」、「光熱・水道」、「被服及び履物」などは下落した。

下落した費目の内訳を寄与度で見ると、ガソリンなどを含む「自動車等関係費」、灯油を指す「他の光熱」、男子コートなどを含む「洋服」、パソコンなどを含む「教養娯楽用耐久財」などの下落が要因となっている。

### △上昇した費目

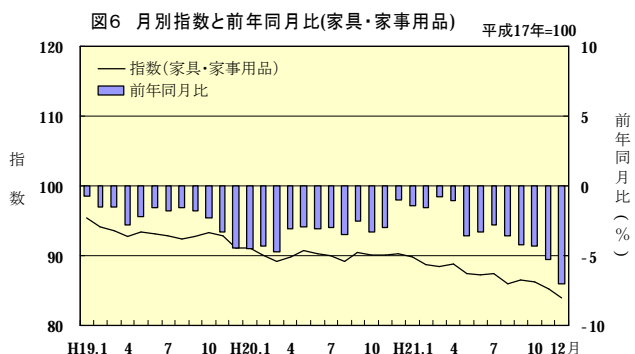
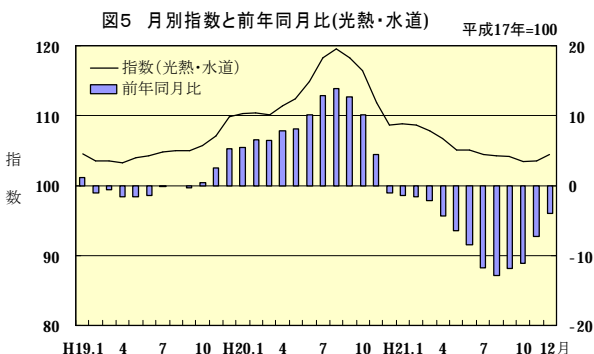
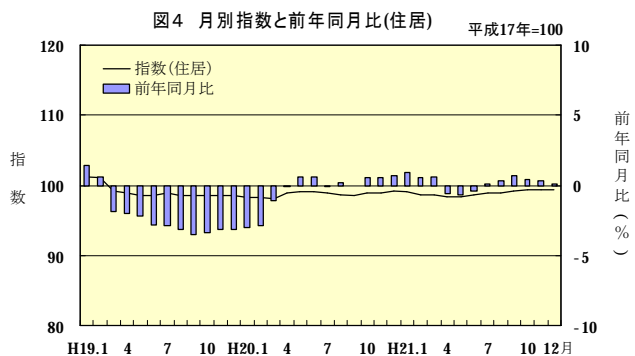
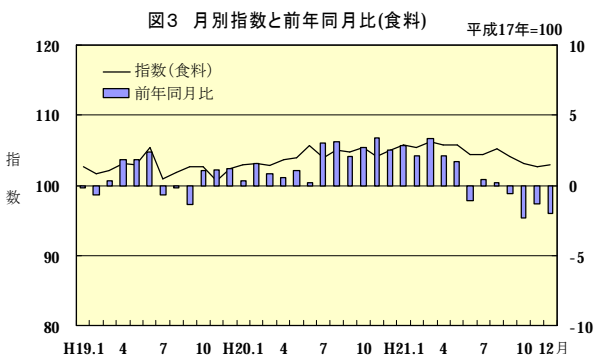
10大費目	前年比	(寄与度)	中分類	前年比	(寄与度)
「食料」	0.4%	(0.10)	菓子類	3.4%	(0.09)
			穀類	3.1%	(0.06)
			外食	1.1%	(0.06)
			野菜・海藻	▲2.4%	(-0.07)
			飲料	▲3.4%	(-0.04)
「住居」	0.2%	(0.04)	家賃	0.2%	(0.04)
「教育」	0.6%	(0.02)	授業料等	0.4%	(0.01)

### ▼下落した費目

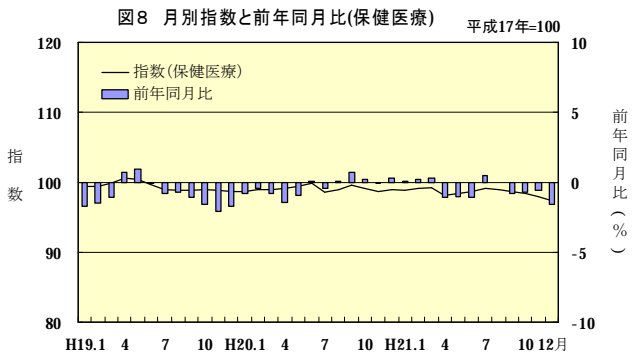
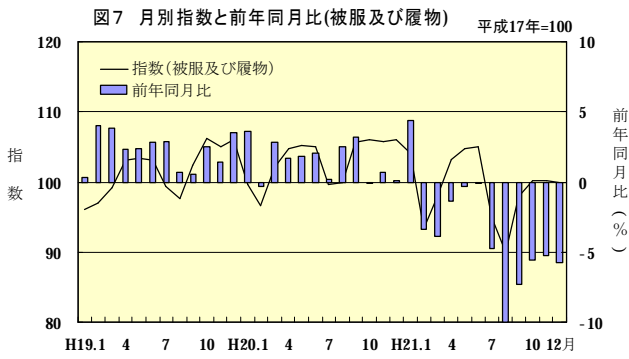
10大費目	前年比	(寄与度)	中分類	前年比	(寄与度)
「交通・通信」	▲4.5%	(-0.70)	自動車等関係費	▲6.3%	(-0.67)
「光熱・水道」	▲7.0%	(-0.61)	他の光熱	▲39.9%	(-0.62)
「被服及び履物」	▲3.6%	(-0.16)	洋服	▲5.0%	(-0.09)
「教養娯楽」	▲1.5%	(-0.13)	教養娯楽用耐久財	▲18.0%	(-0.10)
「家具・家事用品」	▲3.2%	(-0.10)	家庭用耐久財	▲12.2%	(-0.08)
「諸雑費」	▲1.0%	(-0.06)	身の回り用品	▲5.9%	(-0.05)
「保健医療」	▲0.5%	(-0.02)	医薬品・健康保持用摂取品	▲3.2%	(-0.04)

など

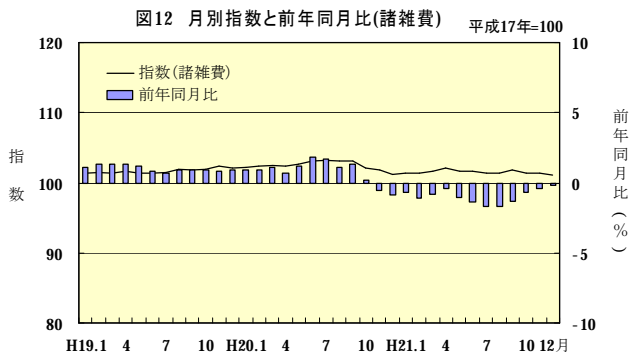
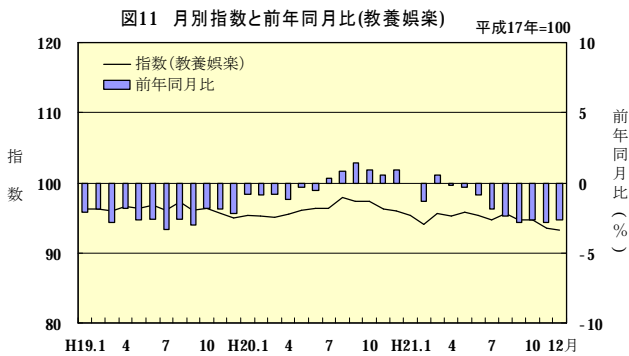
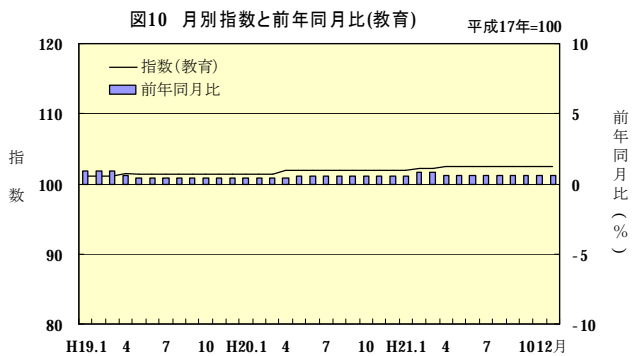
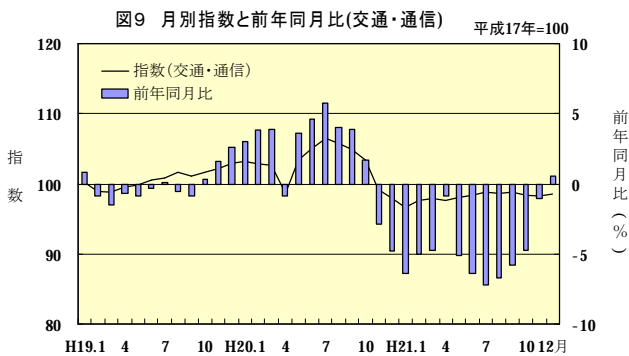
### (1) 10大費目指数の月別の動き



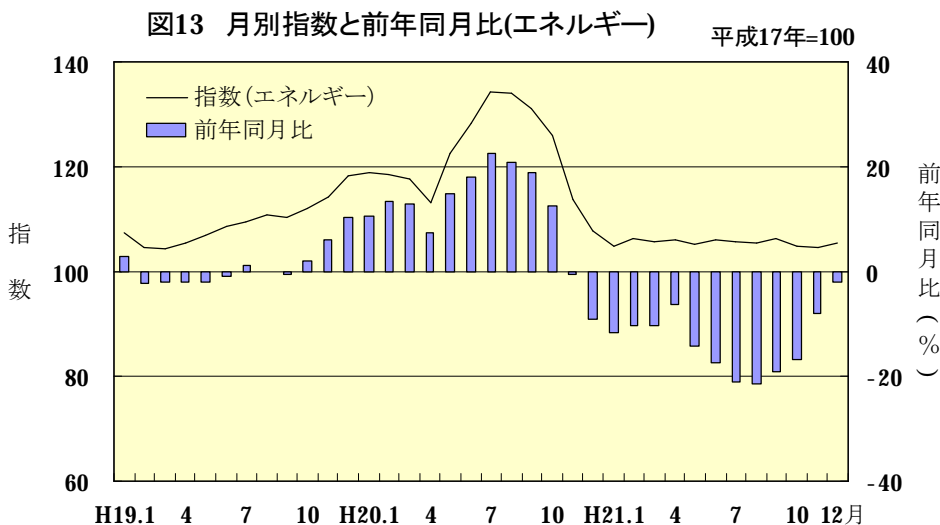
※図5の「前年同月比」の目盛幅は他のグラフと異なる。



※図7の平成21年8月の「前年同月比」は、△10.0%である。



## (2) エネルギー指数の月別の動き



※ エネルギー指数とは、品目別指数のうち、「電気代」、「都市ガス代」、「プロパンガス代」、「灯油」及び「ガソリン」の指数を合わせたものをいう。